

アクションプラン

JACIC 'i-Con'チャレンジ戦略の中で、「JACIC クラウドの構築」、「現場まるごと i-Con 化」、「コリンズテクリスによる建設情報の一元化」の3施策への取り組みについて、その構想を提案してきました。

チャレンジ戦略で提案した内容についての、具体的な取組み、今後の計画を、順次アクションプランとしてとりまとめていきます。今後、内容の充実に努め、更新してまいります。

JACICクラウドの構築

I 公共調達関連サービス

(1) シングルサインオン

【内容】

- ・ シングルサインオンは、JACIC クラウドで提供する複数のサービスメニューを、同一のIDとパスワードで利用できる仕組みです。
- ・ 既存サービスの「コリンズ・テクリスシステム」「建設副産物・発生土情報交換システム」「JACIC ネット」や、ルームなど、新たに提供するサービスを、同一のIDとパスワードで利用することを可能にしていきます。

【スケジュール】

- ・ 2020年4月 コリンズ・テクリス検索システムのシングルサインオン開始
- ・ 2021年7月 建設副産物システムのシングルサインオン開始
- ・ 2022年3月 発生土情報交換システムのシングルサインオン開始予定

(2) 平準化率データ提供サービス

【内容】

- ・ 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」等で、発注者は、施工時期の平準化を図ることが定められています。
- ・ 当サービスは、平準化を支援するために、コリンズ・テクリスに登録されている工事・業務実績情報を活用し、発注機関ごとの以下のデータをセットで提供します。
 - ① 過去3カ年度の平準化率（件数、金額別）
 - ② 発注工事の月ごとの稼働状況グラフ
- ・ サービス利用料金は、取扱いデータ件数の違いから、以下の2区分となっています。

区分	単位	料金（消費税込）
国、都道府県、政令市、その他の機関 （市町村、東京都23区は除く）	1件	11,000円
市町村、東京都23区	1件	1,100円

【スケジュール】

- ・ 2020年4月 平準化率データ提供サービスサービス開始

【参考】

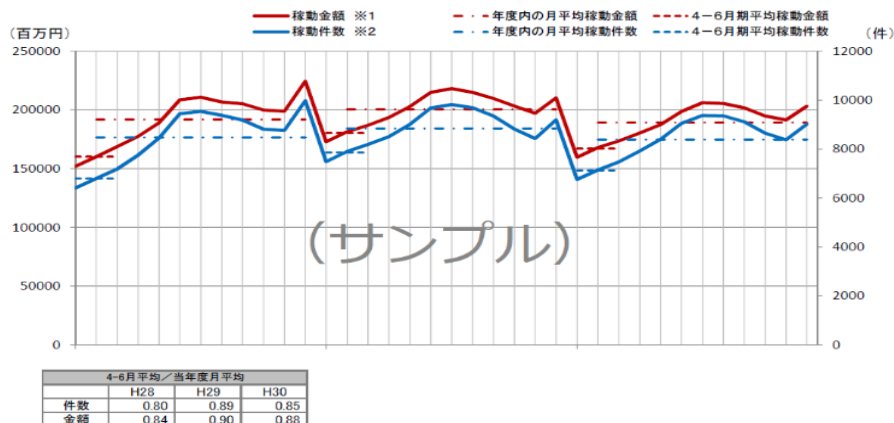


図 2-1 提供する平準化率データ（サンプル）

(3) 発注情報の共有サービス

【内容】

- ・発注公告の関係資料の閲覧希望者が、来庁することなく、インターネット上で閲覧申請、閲覧できるサービスです。
- ・当サービスを発注者側に年間を通じて利用いただくことで、受発注者双方の業務改善を支援します。

【スケジュール】

- ・2021年4月 発注情報共有サービスの提供開始
(国交省近畿・中部地方整備局に提供)

【参考】

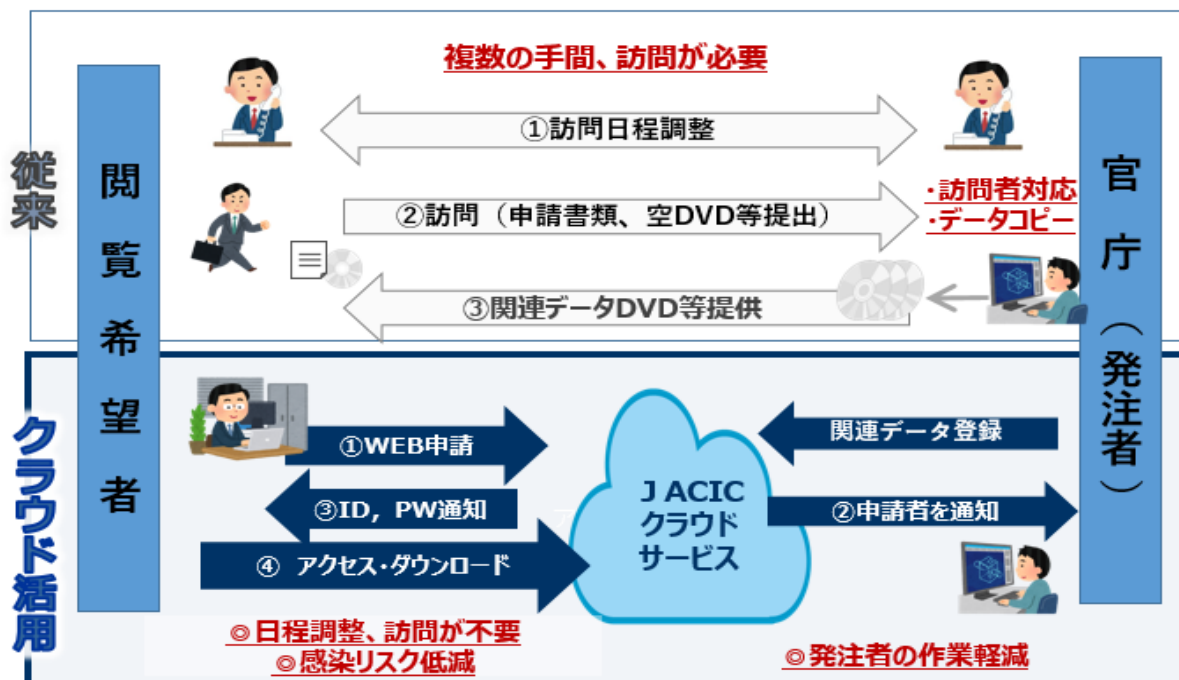


図 2-2 発注情報共有サービスのイメージ (近畿地整)

II 建設プロセス関連サービス

(1) JACIC ルーム



【スケジュール】

- 2020年6月 JACICクラウドで平常ルーム、防災ルームのサービス開始
- 2021年4月 平常ルームと防災ルームを廃止、「JACIC ルーム」のサービス開始

【参考】

専門機能（防災）

- ・ 防災業務時に必要な機能を専門機能として一元的に集約し、便利かつ効率的・効果的な利用画面（専用画面）を提供します。
- ・ 防災対応画面では、LIVE 映像や地図のみならず、クロノロジーや観測情報、気象、警報などの関連情報など、3次元モデルなどの管理情報など多岐にわたる情報をオールインワンで提供します



図 2-4 JACIC クラウド専門機能（防災）のイメージ

J A C I Cクラウド関連施策

I 発注者 BIM/CIM 研修

【内容】

- ・ BIM/CIM に携わる発注者の方に必要な内容で構成した自主研修を Web セミナー及び e-ラーニング形式で提供します。
- ・ 受託事業を通して、地方整備局職員を対象として BIM/CIM に関する基礎的な技術を習得するための研修実施の支援を行います。

【スケジュール】

- ・ 2021 年度 自主研修：Web セミナー及び e-ラーニング形式による研修を提供
受託事業：近畿地方整備局等にて実施

【参考】

2020 年度 発注者 BIM/CIM 研修の実績

- 国土交通省地方整備局からの受託に基づく研修
 - ・ 四国地方整備局、東北地方整備局にて計 5 回実施

現場まるごと i-Conn化

I 現場まるごと i-Conn化の推進のための取組

【内容】

- ・ 令和元年7月、社会基盤情報標準化委員会（以下、「標準化委員会」といいます。）において「建設生産・管理システムのあり方に関する提言～「新現場力」による創造的な現場環境の創出～」が取りまとめられました。
- ・ その中で、「現場まるごと i-Conn化」の推進のため建設プロセスの各段階で適用可能な新技術が示されるとともに、それぞれの新技術によるカイゼンの効果を客観的・数量的に評価する方法等が提示されました。
- ・ 今後は、上記提言のフォローアップの一環として、標準化委員会において、現場に応用可能な新技術を継続して調査・追加するとともに、新技術の活用状況や効果を分析し、現場での新技術活用推進のために取り組むべき事項について検討します。

【スケジュール】

- ・ 2020年度 建設現場に応用可能な新技術の調査・追加、活用推進方策検討（提言のフォローアップ）

II ICTを活用した画像・映像情報の利活用の推進のための取組

【内容】

- ・ 画像・映像情報は、これまで記録としての使い方が中心でしたが、近年、ICTの急速な技術革新により、現況の把握・共有化、点検への活用等、分析や評価のために幅広く活用され始めています。この技術を災害対応や建設プロセスに積極的に導入することで、生産性の向上や仕事のやり方の改善につながることを期待されます。
- ・ 画像・映像情報の利活用を一層推進するため、標準化委員会において、「ICTを活用した画像・映像情報の利活用のあり方」について検討します。
詳しくは JACIC ホームページ <https://www.jacic.or.jp/hyojun/special2021.html>

【スケジュール】

- ・ 2021年7月 中間とりまとめ
- ・ 2022年7月頃 最終とりまとめ（標準化委員会からの新たな提言を予定）

啓発・広報活動及び研究助成等

I. 広報

(1) セミナー

<実施事例>

2021年11月12日(予定)	(仮称) JACIC セミナー
2020年11月12日	JACIC ソリューション報告会
2019年11月14日	JACIC クラウド発表会
2019年11月6日	JACIC セミナー2019in 仙台

(2) JACIC 情報

<最新のテーマ>

2021年7月 第124号	リモートワークにより変わる建設現場
2021年2月 第123号	インフラ分野のDX推進
2020年8月 第122号	インフラ分野における画像・映像情報の利活用
2020年2月 第121号	現場まるごと i-Con 化 ―地方からのチャレンジャー
2019年7月 第120号	社会基盤分野における3次元データの活用

【お問い合わせ先】〒107-6114 東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 14 階 (一財)日本建設情報総合センター 03-3584-2404

(3) JACICnews

<最近の掲載記事>

2021年8月 No.387	専門画面による現場DXの推進
2021年7月 No.386	JACIC クラウドが阿賀野川水防演習に参加
2021年4月 No.383	現場のDXを実現―JACIC クラウドのリニューアル―
2021年2月 No.381	4月から JACIC ルームを提供開始
2021年1月 No.380	JACIC クラウドで見た夢の続き JACIC クラウドの新たな展開
2020年10月 No.377	JACIC'i-Con'チャレンジ戦略改訂
2020年8月 No.375	考えよう現場のDX ―2023年度BIM/CIM問題―
2020年6月 No.373	特集 コロナ禍以降の新しい仕事の仕方
2020年5月 No.372	JACIC クラウド ルーム機能のサービス提供

II. 研究助成

現在実施中の研究は以下の通りである。

テ マ	既存橋梁の2次元図面の意味解釈を通して3次元CIMモデル自動生成手法の提案
	国土交通データプラットフォームの王地区に資する広域地形モデルの制作に関する、テレワーク時代に対応可能な業務モデルの提案
	人間中心設計的アプローチによるBIM/CIM人材育成過程の設計と検証
	無線センサネットワークシステムを応用したIoT技術による屋外多点計測手法の実装のための調査研究
	都市丸ごとシミュレーション技術の社会実装における都市データ利活用カスタマイズに関する調査研究

研究成果については、秋にセミナーを開催するとともに、JACICの事業との連携の可能性などを検討する。また、新たな助成研究の採択を行う。

III. 社会基盤情報標準化委員会小委員会による標準化

社会基盤情報標準化委員会の2018年度から2020年度の小委員会は以下のとおりである。

小委員会名称	申請組織
河川CIM標準化検討小委員会	熊本大学
インフラセット情報連携標準化検討小委員会	株式会社IHIインフラシステム
橋梁パラメトリックモデル標準化検討小委員会	関西大学
スマートインフラセンサのコード・データベース標準化検討小委員会	一般財団法人関西情報センター

また2021年度に採択された小委員会は以下の通り。

会名称	申請組織
スマートインフラセンサモニタリングデータにおけるメタデータ標準化検討小委員会	一般財団法人関西情報センター
BIM/CIMにおける情報エコシステム標準化検討小委員会	一般社団法人 buildingSMART Japan

次回の小委員会検討テーマは、2022年2月～4月を予定している。

社会基盤情報標準化委員会 <https://www.jacic.or.jp/hyojun/hyojunkatowa.html>

問い合わせ先 hyojun@jacic.or.jp

2020年11月10日策定
2021年 3月15日改訂
2021年 4月 1日改訂
2021年 7月 1日改訂
2021年 7月15日改訂
2021年 8月 1日改訂

【お問い合わせ先】

〒107-6114

東京都港区赤坂 5-2-20

赤坂パークビル 14階

一般財団法人日本建設情報総合センター

JACIC ソリューション

計画監理部：大澤、事業推進部：桜井

TEL：03-3505-8102、FAX：03-3505-8983

Mail：jacic-cloud@jacic.or.jp